

昭和56年以前に建てられた木造住宅にお住まいの方へ

新工法で手軽に 耐震補強しませんか？

南海トラフ地震(マグニチュード8～9クラス)は、
30年以内に70～80%の確率で発生するとされています。

あなたの家は、地震に耐えられますか？

地震で家が倒壊すると、自分自身や家族の命を失うかもしれません。
火災の発生や道路を塞いだりと、地域に大きな迷惑をかけるかもしれません。
命が助かったとしても、長期間避難所で不便な生活を送ることになります。

あなたの家は
大丈夫？



診断結果が
「倒壊する可能性が高い」や
「倒壊する可能性がある」の場合は、
耐震改修を強くおすすめします！



精密な診断をして改修設計すると
改修費用を抑える事ができます。
精密な診断ができる設計者に
相談してみましょう！



精密な診断+安価な工法で工事をして
補助金を申請すれば、
自己負担をかなり抑えられます！



STEP
01

無料耐震診断をしよう！

1981(昭和56)年5月以前に建てられた木造住宅は無料耐震診断を申し込むことができます。市町村から派遣された「愛知県木造住宅耐震診断員」が、診断を無料で実施します。

耐震診断結果報告書

耐震診断の結果、「耐震診断結果報告書」にあなたの家の耐震に対する強さが「判定値(評点)」で表されます。評点が1.0未満の場合、「倒壊する可能性がある」や「倒壊する可能性が高い」と診断されますので、地震に備え、耐震改修の検討を行いましょう。

評点1.0未満で
耐震改修！

無料耐震診断
お申込みはこちらから→



STEP
02

耐震改修相談に予約しよう！ 耐震改修設計方針を決めよう！

耐震診断には、一般的な診断の他に精密な診断があります。

精密な診断は、家の状況をより正確に把握することにより、評点が高くなることもあります。

補強計画を立てる改修設計は、一般的な診断の結果から行うこともできますが、精密な診断を行うとより効率的な補強計画で設計することができます。設計費用はやや多くかかりますが、全体の改修費用を抑えることができる可能性があります。

精密な診断が
お得かも？



費用の比較

	一般的な診断 + 一般的な工法	精密な診断 + 安価な改修工法
工事期間	約2か月間	約2週間
設計・工事費	約285万円	約192万円
補助金	上限120万円 120万円	上限140万円 約140万円
自己負担	約165万円	約52万円

※工事費・補助金の額・工事期間は建物ごとに異なります。
上記は過去の設計・工事費の実績(令和6年度)による平均的な額であり、建物の平均床面積は約30坪となります。
※基礎の補強が別途必要となる場合があります。



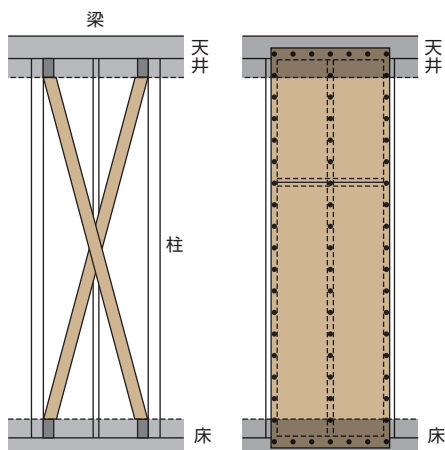
安価な耐震改修工法をご存知ですか？



- 減災協議会で開発・評価している工法！だから**安全**
- 愛知県内の市町村の補助対象工法！だから**安心**
- 天井や床などの解体が少なく、ゴミの排出が少ない工法！だから**お得でエコ**
- 多種多様な工法を用意！あなたの家に合った工法を選択可能！だから**納得**

一般的な耐震改修工法

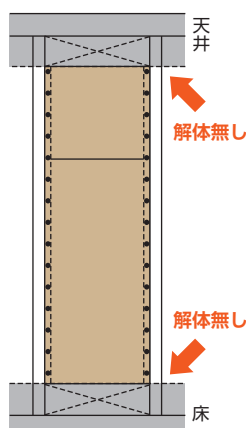
壁全体を補強



床と天井を解体して、筋かいや構造用合板で柱と梁・土台を一体補強

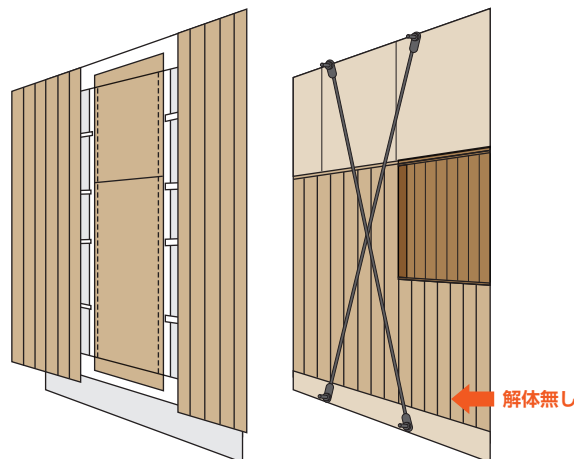
安価な耐震改修工法の一例

壁の一部を補強



床と天井を解体せず、構造用合板で床上から天井下を補強

外から壁を補強

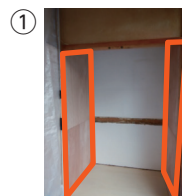


外壁をめくり、外側から構造用合板で補強後、外壁を復旧

外部から金属のブレースで補強

事例

- ① 押入に耐震補強壁(上下あき)を入れると仕上げが不要なため、経済的。
- ② 精密な診断により、適切な場所に適切な強度の金物補強。



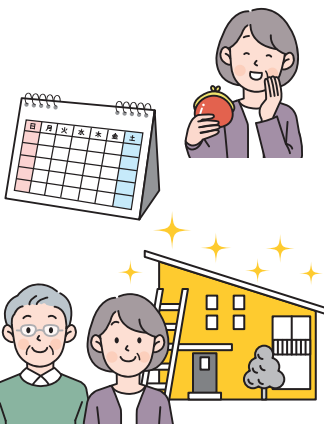
安価な工法を採用することのメリット

天井や床を解体せず補強できるので

✓ 工事費が少なくなる

✓ 施工期間の短縮

✓ 住みながら工事可能



✓ 耐震改修相談承ります

ご自分の家の耐震補強工事費や補助金額が知りたい方は、お気軽にご相談ください。

(まずは)

耐震改修相談会に予約 ☎ 0533-66-1133

ところ 建築住宅課

対象 昭和56年以前に建てられた住宅にお住まいの方、所有者

開催日 毎月2週目(月)～(金)午前10時～午後4時

申し込み 直接または電話で建築住宅課へ前日までに予約。

備考 無料で、建築士の資格をもつ耐震診断員と市職員が相談を承ります。

木造住宅耐震改修費補助金について詳しくはこちら➡



お問い合わせ

蒲都市 建設部 建築住宅課

☎ 0533-66-1133

令和7年9月作成